■インドネシア：政府、2019 年から石炭の輸出量を制限へ

エネルギー鉱物資源省（MEMR）は 2017 年 5 月 18 日、2019 年から石炭の輸出量を制限し、国内供給を優先すると発表した。背景には、国内で石炭火力発電所の建設が進んでいることから、燃料である石炭を確保する狙いがあるとみられる。同省は、石炭火力発電用石炭の消費量は、2016 年に 8,200 万 t であったものが 2019 年には 2 億 t になると予測している。現在、国内の石炭消費量の 80%以上が発電用となっている。